

題名 原爆の恐ろしさと世界の平和

鹿沼市立東中学校 (氏名) 藤林 奏海



私は、広島に行って多くのことを学んで来ました。資料館では、多くの物を見て、「80年前にこんなことがあったのか」という苦しい、辛いだけでは言葉に表せない衝撃を受けました。そして、原爆は想像以上の恐ろしさで資料館に行かないと、感じられないものがありました。次に、実際に被爆を体験した内藤さんの貴重なお話を聞き、沢山の事を学ばせていただきました。その中で「一発の原爆は何の罪のない多くの尊い命を奪った。憎しみ、怒り、悲しみは消えない。けれど、その気持ちは平和にならない、繋がらない。」という言葉が深く心に残りました。私はこの思いを受け止めて繋ぎたい、多くの人に伝えたいと思いました。そして、それが現代に生きる私たちに出来る事、やるべき事だと思います。伝え続けることで多くの人に「戦争の恐ろしさ」や「平和」について考えるきっかけになってほしいと思います。そして、1日でも早く核兵器や戦争がなく、世界中の人々が思いやりを持ち、安心安全で幸せに暮らせる笑顔あふれる世界になってほしいと思います。